

ハザードマップってなに？

洪水ハザードマップとは

洪水・氾濫に関する情報と避難方法などを住民の皆様を提供することにより、日頃からの防災意識を高めるとともに、いざという時に安全かつスムーズな避難行動につなげ、被害を最小限にすることを目的とした地図です。

大雨などによって河川が氾濫した場合に浸水する範囲や深さを予想した浸水想定区域図や、浸水するまでの時間、氾濫時の避難場所など、浸水が想定される区域からの住民の安全な避難に必要な情報を掲載しています。

ハザードマップの対象河川

国、埼玉県が浸水想定区域図を公表した河川を対象としています。

- ・利根川
- ・江戸川
- ・荒川
- ・中川
- ・綾瀬川
- ・中川、綾瀬川、元荒川、大落古利根川、新方川
- ・芝川、新芝川



地震ハザードマップとは

今後発生が想定されている地震のうち、八潮市へ最も大きな影響を及ぼす東京湾北部地震をもとに、「建物倒壊危険度マップ」、「揺れやすさマップ」、「液状化可能性マップ」を作成しています。



ハザードマップの想定地震

八潮市では、埼玉県が平成24・25年度に実施した地震被害想定調査に基づいて東京湾北部地震を想定地震としています。

東京湾北部地震が発生すると市内では、震度6強の揺れが発生し、次のような被害が発生すると想定されています。

- ・建物被害 4,189棟 (全壊・半壊)
- ・人的被害 584人
- ・避難者 4,545人